

今年も

「あづみ野 野菜スイーツフェア」開催します！

清らかな水、肥沃な大地に恵まれ、おひさまをいっぱいに浴びて育った安曇野産の野菜。野菜を通じて安曇野の豊かさを味わってほしい、そんな思いをスイーツに込めました。10月に開催する「あづみ野 野菜スイーツフェア」は、スイーツ専門店、宿泊業者などさまざまな業種の11店舗が参加。安曇野産野菜の使用にこだわり、それぞれが開発したスイーツを販売します。

安曇野の旬の魅力を味わってみませんか？

【開催期間】 10月1日（土）～31日（月）

【実施店舗】 市ホームページ、新聞折り込み（9/26 予定）、商工観光部窓口設置のチラシなどに掲載しています。



私の好きなビューポイント ～祭りのビューポイント～募集

安曇野ブランドデザイン会議安曇野百選プロジェクトでは、皆さんが好きな祭りなどをはじめとした伝統行事のビューポイント（場所）を募集します。応募いただいたビューポイントは、本年度中に作成する冊子への掲載候補とし、安曇野の景観育成活動の資料にするなど、プロジェクトの活動に利用させていただきます。皆さんのご応募をお待ちしています。

●受付期間 10月3日（月）～31日（月）
●応募方法 受付期間内に市ホームページから「申込用紙」をダウンロードし、電子メール・持参・郵送により安曇野ブランド推進室へ応募してください。また、申込用紙は、安曇野ブランド推進室でもお配りします。

姉妹都市 オーストリア共和国クラムザッハ青年交流事業

雄大なアルプスの山々・溢れる音楽・豊かな草原

姉妹都市クラムザッハを訪問しませんか

【概要】 ●日程 平成24年3月22日（木）～29日（木）（7泊8日）クラムザッハ町を訪問し、国立ガラス専門学校などを通して青少年の交流を深めます。●応募資格 次の①②に該当する人で、事前の学習会（2回程度）に参加可能な人。①市内在住の高校生を優先。ただし、保護者および在学している学校の承諾が得られる人。心身ともに健康で協調性のある人。②市内在住か市内の企業に勤務していて、クラムザッハに関心のある人。※交流事業後に感想文の提出をお願いします。●募集人数 10人（最少催行人数5人）※応募者多数の場合は書類選考●参加費用 15万円程度（変動あり）●募集期間 9月26日（月）～10月20日（木）※当日消印有効●応募方法 市役所本庁舎内総務課または市ホームページから申込書を入手し、必要事項を記入のうえ、下記へ郵送にて提出してください。

【問い合わせ・申し込み】 〒399-8205 安曇野市豊科4932番地46 本庁舎内総務課都市交流・国際係

TEL71・2000 FAX71・5155 E-mail:soumu@city.azumino.nagano.jp

参加者の募集

全国の先進事例に学ぶ ～地域資源活用人材育成セミナー受講者募集！～

安曇野市の地域ブランドづくりは、市民の皆さまによる主体的な地域づくりが大きな礎となります。

市と安曇野ブランドデザイン会議黒豆プロジェクトでは、地域の活性化を積極的に進めていくため、全国の先進的な取り組みを紹介する「地域資源活用人材育成セミナー」を開催します。

●対象 市内に居住するか勤務し、地域資源を活用した取り組みに興味がある人。3つのカリキュラムすべてを受講できる人。

●定員 40人

●会場 穂高総合支所会議室

●申し込み方法 9月21日（水）より受付。安曇野ブランド推進室備え付けの申込書に必要事項を記載のうえ、持参するか、郵送、ファクス、または電子メールでお申し込みください。申込書はファクスでの請求可。または、市ホームページからもダウンロードできます。

第1回 10月20日（木）午後1時30分～
演題 安曇野ブランドの課題
講師 法政大学大学院 政策創造研究科 教授 中嶋聞多さん（ビジネスやNPO創設も手掛けた経験を持つ異色の情報学者）

第2回 11月7日（月）午後7時～
演題 地域資源活用型第3セクター
鳥根県 吉田ふさと村の取り組み
講師 榎吉田ふさと村 専務 高岡裕司さん（卵かけご飯専用醤油「おたまはん」を開発全国に卵かけご飯ブームを起こす）

第3回 11月24日（木）午後1時30分～
演題 私の旅館経営
～サービスは4タイプ～
講師 榎一の坊 社長 高橋征太郎さん（宮城県で个性的な温泉宿泊施設4軒のほかレストラン・美術館などを経営）

安曇野屋敷林フォーラム2011

安曇野に点在する屋敷林。日本の原風景ともいえる景観に評価が高まる一方、その維持管理の難しさから年々減少しているのが現状です。安曇野ブランド推進会議「屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト」では、安曇野の屋敷林の実態について理解を深め、その保全について考えるため、フォーラムを開催します。どなたでもお気軽にご参加ください。

●日時 10月9日（日）午前9時30分～正午
●場所 堀金総合体育館
●内容
・「安曇野の屋敷林その歴史的まちなみを訪ねて」出版報告、奥州フォーラム報告
・パネルディスカッション
「屋敷林を残すための仕組みを考える」

【問い合わせ・申し込み】 安曇野ブランド推進室
〒399-8303 安曇野市穂高6658番地 穂高総合支所内
TEL82・3131 FAX82・6622 E-mail:azumino-brand@city.azumino.nagano.jp



●クラムザッハの紹介

旧豊科町のガラス工房設立が縁で姉妹都市となったオーストリア共和国クラムザッハ町。この地はウィーンから450km、ドイツ・ミュンヘンから130km離れていて、イン川の左岸に位置しています。雄大なアルプスの山々と音楽が溢れ、カウベルの音が谷間に響きわたる豊かな草原が広がり、家々の窓に見ることのできる色とりどりの花々と相まって、まるで絵のようなロマンチックな風景に出会うことができます。また、グラスや食器に丁寧に描かれるチロル地方独特の伝統ガラ

ス工芸のまちとしても有名で、第二次世界大戦後、ドイツ系ガラス職人たちが来たことでさらに発展しました。その後、オーストリアで唯一のガラス専門学校が設立され、日本からも何人かの学生が学び、豊科出身の卒業生もいます。